

2020年7月17日

札幌ソフトテニス連盟

「ソフトテニス大会における感染拡大予防ガイドライン」

1、はじめに

新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が全国で解除されたことに伴い、今後、ソフトテニスイベントの再開に向けた取り組みが実施されていくこととなりますが、本ガイドラインは、(公財)日本スポーツ協会・日本ソフトテニス連盟および北海道ソフトテニス連盟が発出したガイドラインに沿って、大会やイベントなどにおける感染拡大予防のための留意点についてまとめたものです。

なお、本ガイドラインは、上記作成日の段階で得られている知見等に基づき作成しています。今後の知見集積および各地域の感染状況を踏まえて、随時見直しを行いますのでご留意ください。

2、大会・イベント再開にあたっての基本的な考え方について

大会やイベント開催につきましては、北海道・札幌市の方針に従い、施設が所在する各々スポーツ主管課等と相談のうえ、実施いたします。

屋外での大会、あるいは参加者が特定された地域大会・イベントなどについては、北海道・札幌市のイベント開催制限の方針に反しない形であれば、適切な感染防止対策を講じた上で、それらのリスクの判断を行い、感染拡大のリスクの低い活動については注意をしながら実施いたします。また、その場合であっても、当面の間、感染拡大への備えと、「三つの密」を徹底的に回避するための対策をとります。

3、大会・イベント開催・実施時の感染防止策について

感染予防策は、北海道・札幌市及び札幌市スポーツ協会の方針に反しないことを前提として、参加者が大会・イベントに安全・安心に参加できるよう、主催者(主管団体)が運営に当たり留意すべき感染防止の事項を取りまとめたものです。

大会・イベントの主催者(主管団体)は、本内容を踏まえ、各イベントの特性を勘案して、感染防止のため自らが実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、当面の間、以下の【感染予防対策】を講じながら、大会・イベントを実施することとします。

2、【大会における感染予防対策】

(1)参加募集時の主催者(主管団体)の対応

- ①大会・イベント参加募集に際して、感染拡大防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして、大会要綱に記載することで協力を求めること。
- ②発熱や風邪症状、咳・痰・胸部不快感、強いだるさや倦怠感および味覚・嗅覚を感じない者の参加を認めないこと。
- ③過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、あるいは 14 日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も参加を認めないこと。
- ④大会・イベント参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する必要があることを周知すること。
なお、協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会・イベントへの参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知すること。

(2)主催者(主管団体)の対応

- ①参加者・運営スタッフの検温結果など下記内容をまとめたシートを作成し、大会・イベント当日に提出させること。
 - ・氏名・連絡先(電話番号)・当日の体温
 - ・当日の2週間前までににおける発熱などの感染症状の有無
- ②選手、関係者、運営スタッフには会場に入る際、必ずマスクを着用させること。
- ③必要とおもわれる場所に、消毒液などを配備する。
- ④大会開催の際は、選手ならびに関係者の密集のリスクを回避する工夫をすること。
- ⑤受付場所、集合場所を換気の良い場所に設置するなど、選手ならびに関係者の密集・閉のリスクを回避する工夫をすること。
- ⑥感染予防対策を優先し、試合に支障がない開会式・表彰式を省略するなど、大会運営における慣例や慣習を見直す工夫を図ること。
- ⑦観客が入る場合は、密集・密接にならないように配慮し、大声での応援なども控えるように協力をお願いすること。
- ⑧更衣室やトイレ、待機スペース、役員控室などは広さにゆとりを持たせ、一度に入室できる人数を制限するなど、他の参加者と密になることを避けること。また、換気扇を常に回す、換気用の小窓を開けるなど換気に配慮すること。
- ⑨競技場内で、複数の関係者が触れると考えられる場所や物品(審判台、審判用具など)について、こまめに消毒すること。多数の選手が関わる審判員の使用する筆記用具は、審判員各自で用意し、共有を避けること。
- ⑩大会開催後に大会参加者・関係者らの感染が判明した場合には、速やかに各都道府県連盟に報告、各都道府県連盟は日本ソフトテニス連盟に報告すること。
- ⑪感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることが無いように配慮すること。

⑫大会参加者で感染者が発生(発覚)した場合、今後開催予定の大会を中止とする。

(3)参加者の対応

- ①参加者は大会・イベント開始前に検温をし、その他必要事項を運営側に報告をすること。
- ②試合中には十分な距離を確保しながらマスクを外してプレーを行うが、試合以外ではマスクを着用すること。
- ③会場内では他人との距離を2メートル確保すること。また、コート内においてもできるだけ2メートルを確保するよう努力するとともに、ペアで話をする際には、対面しないようにすること。
- ④試合前のアップおよび試合において、選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控えること。
- ⑤試合開始前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はネットから1m以上離れて行うこと。また試合後の選手間での握手も禁止とすること。
- ⑥ペアなどとのハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと。
- ⑦団体戦においてコートに入場できるのは対戦する選手と、ベンチコーチの監督のみとし、待機選手はコート外で一定間隔を保ち応援するよう努力すること。
- ⑧一般の応援者については、観客席が「密」にならないように、一定の距離を保って観戦するよう、チームごとで応援者に注意喚起を行うこと
- ⑨用具、用品(ラケット、タオル、ウェアなど)のシェアをしないこと。また、マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有、使い回しを行わないこと。
- ⑩試合終了の度に、こまめな手洗いを行うこと。
- ⑪チーム内などにおいて、感染者が発生した場合は、チームを活動停止するとともに大会への出場を中止し、関係者に連絡すること。
- ⑫参加者は、各自で消毒液などを用意(持参)し、感染の防御をすること。

(4)その他

- ①飲食については、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け会話は控えめにすること。
- ②飲みきれなかったスポーツドリンクなどを指定場所以外に捨てないこと
- ③会場に配備しているゴミ箱などは撤去し、ゴミは各自持ち帰ること
- ④会場内におけるマスク未着用時の咳エチケットの励行、および唾、痰を吐く行為を厳禁とすること。
- ⑤万が一感染が発生した場合に備え、主催者(主管団体)は個人情報に十分注意しながら、大会・イベント当日に参加者から提出を求めた書面について、大会終了後2か月以上保存しておくこと。
- ⑥各地域の事情を踏まえ、本ガイドライン以外に必要なことは主催者(主管団体)で実施すること。